

うらそえ市議会だより

第107号

発行：議会改革等に関する調査特別委員会
 編集：うらそえ市議会だより編集委員会
 〒901-2501
 沖縄県浦添市安波茶1-1-1
 TEL(098)851-5057
 FAX(098)877-4826



第177回定例会の様子

第177回 定例会の概要 及び経過

第177回定例会は、6月7日招集、6月24日閉会の18日間の会期で開かれまし

た。初日は、冒頭で議員提出議案第7号が上程され、説明聴取後、全会一致で原案可決しました。その後、平成28年度浦添市一般会計補正予算、条例議案など計5件の議案について提案理由が説明されました。

6月13日から始まった一般質問では、20人の議員が福祉、教育、西海岸開発等市政全般に及ぶ行政課題について活発な議論が展開されました。

6月17日からは市長提出議案の審議に入り、平成28年度一般会計補正予算(第1号)を全会一致で原案のとおり可決しました。その他の議案については本会議で質疑を行った後、各常任委員会に付託しました。

6月24日の最終日は、各委員会へ付託した議案、陳

情について各委員長からの報告、質疑、討論、採決を行い、その結果、議案第42号から第44号を原案可決、議案第45号を同意しまし

た。また陳情2件を採択しました。その後、議員提出議案第8号及び第9号が上程され、全会一致で原案可決しました。また、南部広域市町村圏事務組合議会議員の選挙の結果、仲里勝憲議員が選出されまし

た。最後に各常任委員会からの陳情の閉会中継統審査の申し出を承認し、第177回定例会を閉会しました。

6月定例会の一般質問の概要は、3ページから9ページに掲載しています。

6月定例会審議日程

31日(火)	第177回定例会告示
5月	
3日(金)	議会運営委員会
7日(火)	開会 議員提出議案第7号上程 (説明聴取・表決) 議案第41号、第45号上程 (提案説明) 全員協議会
6月	
8日(水)	～10日(金) 休会(議案研究)
13日(月)	本会議 一般質問(5人)
14日(火)	本会議 一般質問(5人)
15日(水)	本会議 一般質問(5人)
16日(木)	本会議 一般質問(5人) 議会運営委員会(散会后)
17日(金)	本会議 議案第41号(質疑・表決) 議案第42号、第45号 (質疑・所管委員会付託)
20日(月)	休会 総務委員会・福祉委員会 文教委員会・建設委員会
21日(火)	休会 西海岸開発特別委員会
22日(水)	休会 事務整理日
23日(木)	休会 慰霊の日
24日(金)	本会議 議案第42号、第45号 (委員長報告・表決) (委員長報告・表決) 陳情上程(委員長報告・表決) 議員提出議案第8号、第9号 上程 (説明聴取・表決) 選挙第2号 南部広域市町村圏事務組合議会 議員の選挙 閉会中継統審査の申し出
閉会	



6月定例会の 主な 議案概要

平成28年度一 般会計補正予 算を可決

平成28年度浦添市一般会計補正予算(第1号)は、既決の歳入歳出予算の総額にそれぞれ8595万7000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ473億8795万7000円とするもので、歳入の主な内容は、国庫支出金、県支出金、寄附金及び繰入金を増額するものです。歳出の主な内容は、昨

年度創設された地方創生加速化交付金を活用する男女共同参画推進事業、防犯対策事業、児童センター運営事業、児童センター管理事業及び観光振興事業を増額するほか、新規事業として海岸漂着物等地域対策推進事業及び沖縄振興特別推進交付金を活用する雇用創出事業を予算計上するものであり、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

案第6号米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する抗議決議が臨時会の告示事件として提出され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。また市長より、2件(専決処分)の承認を求めることについて)の両議案については承認されました。

第186回 臨時会議決結果

第186回浦添市議会臨時会は、平成28年5月26日に招集され、議員提出議案第5号米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する意見書及び議員提出議

南部広域市町村 圏事務組合議会 議員選挙結果

定例会最終日に、本市議会選出の南部広域市町村圏事務組合議会議員一人の辞職に伴う選挙が行われ、仲里勝憲議員が選出されました。

議員表彰

去る5月31日の全国市議会議長会第92回定期総会において、議員30年特別表彰、議員15年一般表彰の賞状の授与があり、6月7日の第177回定例会の開会前に議場で伝達式を行いました。

- ☆議員30年特別表彰 ☆ 又吉 謙一 議員
- ☆議員15年一般表彰 ☆ 比嘉 讓治 議員



傍聴のご案内

市議会の本会議は公開されています。議員がどのような会議を行い、市政がどのように進められているかなど、市議会の様子を知りたい方は、傍聴することができます。

議会の傍聴を希望される方は、どなたでも傍聴できますが、傍聴席(40席)の関係から制限されることがありますので御了承下さい。傍聴する際には、傍聴席入口(議会棟4階)にて受付名簿に住所・氏名等を記載の上、お入り下さい。

傍聴の際は傍聴規則を守って、静かに傍聴して下さい。なお、団体等多人数(10人以上)による傍聴希望の場合は、事前に議会事務局までご連絡下さい。

問合せ先
電話 098-851-5057(直通)

一般質問

6月定例会の一般質問につきましては、紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しております。

なお、詳しい内容は会議録をご覧になるか、議会ホームページで会議録検索システムをごらんください。

※各議員の原稿枠内にあるQRコードにつきましては、掲載された一般質問を行った際の録画映像へアクセスするためのものです。スマートフォン・タブレット端末等で視聴ができますので、ごらんください。



又吉 栄

○牧港漁港内多目的広場の整備について
 ○伊祖前田線(大公園遊具広場入口)に横断歩道を設置することについて
 ○牧港4丁目官舎跡地利用計画について



←録画映像はこちらから

議員 牧港漁港内多目的広場に休憩所の設置とガードレールの取り替えについて。
経済観光局長 今年度は、牧港漁港の整備課題、調査及び漁港整備基本計画を策定する予定となっておりますので、東屋の設置については漁港整備に支障がないか、また、漁港の管理運営上支障がないかなど状況を把握しながら検討します。また、牧港漁港と上野自治会との間の排水路への転落防止のために設置されているガードレールは、設置から30年余が経過しており今後は利用者の安全確保と早急に修繕等ができるよう努めます。

議員 出入り口付近で道向かいの駐車場との行き来で、道路横断者が多い事も確認をして横断歩道設置の必要性を感じているところであり、当該管理者である県とも協議を進めているところである。
議員 牧港4丁目官舎跡地利用計画について。
福祉部長 旧沖繩国税事務所牧港寮跡地につきましては平成27年7月に、内閣府沖繩総合事務局から未利用国有地の取得等要望についての照会があり、この照会を受けまして、検討を重ねました結果、かねてより計画しておりました。発達障がい児及び者に対する療育支援の拠点となる施設整備の予定地として要望させていただいたためであり、現在、用地所得や施設整備に要する財源の確保に向け検討を重ねている処である。



比嘉克政

○浦添市の待機児童の実態について
 ○給食費の半額補助について
 ○防犯灯をLEDに切り替えることについて



←録画映像はこちらから

議員 浦添市の待機児童の実態について伺う。
市長 浦添市の過去3年間の各年4月1日時点における待機児童数は、平成26年221人平成27年157人平成28年231人になっており施設整備等における受け入れ定員の増加数は平成26年40人平成27年304人平成28年323人となっております。今後の待機児童解消に向けての取り組みについては施設整備計画において本園の創設5施設、賃貸型分園1施設、既設保育所の増設1施設を計画しており、小規模保育事業所4施設程度、事業所内保育事業所2施設程度をふやしていく方向で取り組んでいる。これにより合計700人以上の児童の受け入れの枠をふやすことで待機児童解消に向けて取り組んでいく予定である。

福祉部長 先ほど市長が答弁しました700人以上というのは、今年度28年度当初予算で示した予算措置をしっかりと確保した上での数字である。これをもって平成28年度29年度中に待機児童解消に向けて取り組んでいくが、それを1日も早く前倒しで取り組みまして、1人でも多く1人でも1日でも早くこの実現に向けて取り組んでいくということである。
議員 防犯灯をLEDに切り替えることについて伺う。
市民部長 防犯灯につきましては、自治会が主体となりまして地域の実情に応じましてその防犯灯を設置しているところである。私どもは今後の防犯灯LED化につきましてはは自治会と協議を重ね要望等も精査しそういったものを検討していく所存である。



浦崎 猛

○自治会防犯灯(水銀灯)をLED化にすることについて



←録画映像はこちらから

議員 本市自治会防犯灯のLED化は、各自治会が独自に取り組んでいる状況で、その中で我が浦西自治会も今年の4月には13基のLED防犯灯を導入している。既存の水銀灯とLEDの電料を比較すると、水銀灯が月1170円で、LED10ワットは月141円。差額は1基当たり月1029円となる。1年で約1万2000円安くなる。自治会防犯灯は全部で96基あり、残り83基をLEDにすると、年間約102万4000円安くなる。自治会として、今年度で残りの防犯灯をLED化していきたいと思っているが、行政の考えを伺う。

については、沖繩電力発表の公衆街路灯電気料金の8割を補助している。浦添市自治会長会もLED化推進臨時部会を設置し、防犯灯のLED化について取り組みを強化しているところである。本市としても、自治会長会と協力しながら調査研究を行い、防犯灯のLED化に向けて支援をしていきたいと考えている。
議員 各自治会でLED防犯灯の見積もりを取るとばらつきがあると思うので、浦添市がメーカーとまとめて価格を交渉し、自治会へ安価に供給し単年度で二斉に設置する方法も考えられるが、その点どう考えているのか。
市長 現在、市内にある防犯灯は各自治会が設置、管理を行っており、上限額はあるが、その工事費の8割以内、また防犯灯電気料金



比嘉讓治

○「(仮称)里浜条例」の現在の検討状況について

○海浜公園実現に向けた取り組みについて

○港川地域の建設ラッシュに伴う課題について



←録画映像はこちらから

議員 (仮称)里浜条例の現在の検討状況について聞きたい。

市民部長

里浜条例に向けては、これまで制定の事例がないため、類似例を比較検討しながら市独自の条例案作成を進めている。制定にあたっては西海岸道路や海浜公園の整理状況、景観や文化財等の関連部署との連携が必要であり、現在関連部署で構成する検討委員会を立ち上げ取り組んでいる。今年度中に芽出しをしたい。

企画部長

地域自治会を中心とした同海域での十数年来的活動の集大成が里浜条例だと認識している。学校と一体となつて取り組んできた総合学習、里浜づくりは、行政としてもしっかりと継続すべきと認識している。

議員

カーミージー周辺の海浜公園実現に向けた取り組みの現状、今後の見通しについて聞きたい。

市長

一括交付金を活用し、本年度より2年間をかけて基本構想、基本計画、基本設計、実施計画を行い、平成30年度以降からの事業化を目指している。今年度は換を図りたい。

都市建設部長

平成27年1月から28年5月末までに7棟、計255世帯。交通渋滞発生等課題を想定している。過度な自動車依存の転換を図りたい。



西銘 健

○基地のない平和で教育、福祉の充実した浦添市実現を

○保育園創設など700人以上の受け入れ拡大

○保育士の賃上げ、認可外園支援の拡充を

○子ども医療費の完全無料化を



←録画映像はこちらから

議員 20歳の女性が米軍属によつて殺害される凶悪犯罪が起こった。戦後71年私たちが沖縄県民は苦しめられてきた。基地をなくしてこそ、平和な浦添市を実現できる。

市長

まずは県知事を筆頭に基地についてどうすべきか意思表示していくべき。

議員

浦添に軍港は許さないとというのが市民の思いだ。

市長

協議をしながらしっかりと進める。

議員

市民の命を守る市長として自覚がない無責任。私たちの誇りと尊厳が問われている。市民の命と安全を守る立場で、軍港に反対せよ。

議員

保育園を増やすこと。

福祉部長

今年度は、創設5か所など合計700人以上を受け入れ枠を増やす。

議員

保育士の賃金上げよ。福祉部長 昨年度、人件費

議員 友好都市交流とその成果と今後の展望を伺う。

企画部長

蒲郡市とは毎年でだこまつりや蒲郡いかだレース参戦など相互交流。今年度は創立50周年迎える老人クラブ連合会を派遣し蒲郡ボーイスカウトを受ける。

指導部長

中国との交流は国際的視野が広がり、豊かな人間形成と子供たちが国際感覚を身につけた心豊かなリーダーとしての人材育成に取り組んでいる。

議員

学校安全マップで地域で守るべき子どもたちのために学校情報や地域との連携を保つ方策を伺う。

指導部長

学校安全マップの果たす役割は大きい。子供たちを犯罪から守る視点として学校と地域自治会や保護司、民生委員、児童委員、警察補導員、スクールソーシャルワーカーと連携し情報の共有を図る。不審

議員

者情報等を学校から発信し連携して取り組む。

議員

宮城大通りの「あい保険工房」前のポケットパークにベンチの設置を。

都市建設部長

花壇の整備はボランティア活動により一年中草花が咲き誇り地域の憩いの場所となり、皆様の緑化活動に敬意を払う。テーブルとベンチの設置は本市の緑化推進事業を活用して整備を進める。



仲里邦彦

○友好都市交流の成果と今後の交流

○地域に目を光らす学校安全マップの活用

○宮城大通りポケットパークにベンチ設置

○観光協会の強化と観光資源の発掘



←録画映像はこちらから

議員

観光協会の組織強化並びに軽便鉄道駅舎跡標示の観光資源発掘について。

市長

誘客強化を図り観光振興計画を策定し地域活性化や経済効果の創出に向けて取り組む。

議員

「まちまーいコース」事業の中で歴史文化的価値のある駅舎跡は歴史ガイドの皆さんの活用を設定。観光資源のさまざまな観点から取り組む。



當間清春

- 市が設置する付属機関の市自治会長会からの選任について
- 道路行政について
- 学校給食費補助事業の進捗状況について
- 新3学期制導入後の状況について



←録画映像はこちらから

議員 自治会長会の各種団体付属機関への役員派遣について。

総務部長 派遣されている付属機関13機関である。附属機関設置数、全体63で現在活動中36、休会中27機関あります。

議員 これまでに自治会長が果たしてきた役割を伺う。

総務部長 地域の声や要望を行政へ届ける点で果たす役割は大きいと感じています。今後もお力添えをお願いします。

議員 沢岬わらべ保育園前沢岬2-10-1付近の路面標示設置について。

都市建設部長 道路標識の設置者である警察と協議をしていきたい。

議員 学校給食費補助事業について伺う。

指導部長 所得金額が180万円以下の保護者に補助をする事業で、現在小中学



与那原良明

- 沢岬小学校児童クラブ施設建設について
- 野球やサッカーのできる公園の有るか
- 運動公園池とせせらぎの環境整備について
- グリーンハイツ線進捗状況について



←録画映像はこちらから

議員 沢岬小学校区の児童クラブ専用公的施設の建設予定について伺う。

福祉部長 議員ご指摘の通り、市内において公的施設としての児童クラブ室が未整備で有る地域は沢岬地域のみとなります。新たな公的施設を建設することについては、小学校、幼稚園の改築等に合わせ、教育委員会と調整の上、財源等も含め検討し、関係機関と協議を重ねながら取り組んでまいりたい。

議員 市内街区公園の現状について、野球のキャッチボールやサッカーのできる公園の有るか伺います。

市長 公園内での球技は禁止とさせていただいており、また若干の沈下が進行している。今後の整備予定としては、引き続き圧密沈下を整備が必要とのことであり、球技等も想定した利用方法やルールづくり、維持管理について事例研究

議員 運動公園の整備について、池とせせらぎの環境整備について伺う。

議員 ①浦添市立小中学校、幼稚園の現状について②今後の対策について伺う。

教育部長 これまでの防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱が改正され、平成28年以降に実施設計を行って設置する3級及び4級防音工事による空調設備の維持費は補助の対象外となる。現在のところ1級防音が3施設、2級防音が15施設、3級防音が6施設ある。対象施設は神森小学校、内間小学校、沢岬小学校、神森中学校の4小中学校と神森幼稚園、内間幼稚園の2幼稚園です。②については、平成28年5月30日には沖繩県市町村教育委員会連合会や、沖繩地区防衛事業連絡協議会を通し、沖繩防衛局宛てに維持費補助の見直し要請文を提出し補助継続を強く申し入れた。今後も県及び他市町村と歩調を合わせながら要請を行っていく考え。

議員 この予算は今年度からすぐもらえなくなるといいますが、いつから減額となるのか。

教育部長 すぐに補助金がなくなるということではない。今年度も昨年同様にただけるものと理解している。補助対象となる時期は大きく分けて2通り考えられる。1点目は校舎を建てかえる場合、新たに測定を行い、3級、4級となれば、維持費はいただけない。もう1点は空調の更新である。老朽化に伴い空調機を防衛補助により更新した場合工事を実施した後の維持費は対象外となる。

議員 補助事業の継続が出来るよう頑張ってください。



仲程淳也

- 空調維持費補助の一部廃止について



←録画映像はこちらから

松下美智子



- 空き家対策について
- 新市民テニスコートの建設
- 住宅改修費に受領委任払い制度を導入することについて
- 浦添市役所・浦添運動公園内のお手洗いの洋式化について



←録画映像はこちらから

議員 空き家対策について

都市建設部長 本市の空き

家率は特段低い数字の状況。問題事例等が発生の場合、適切な対応を関係部署と協議を重ねていきたい。

議員 新市民テニスコートの建設について何う。

教育部長 公共用地への整備で現在検討を進めている。

議員 公共用地への建設として、前田公園内へのオムニコート4面の建設を要望させて頂きたい。当局の考えをお聞かせ下さい。

教育部長 前田公園予定地、計画されているところですが、そこにテニスコートを作ってはどうかとのご提案ですが、早期実現という観点から、非常に有効な候補地の一つだと考えております。今後は担当部局とともに協議、調整を進めてまいりますと

考えています。介護保険法に基づく

住宅改修費について、現行の費用の全額を一旦支払う償還払いから、新たに受領委任払い制度を導入することについて何う。

健康部長 受領委任払い制度の導入時期として、本年度中を予定している。

議員 自己負担額のみを支払い受領委任払いが導入になればさらに使い勝手が良くなる。もう少し明確な時期を何う。

健康部長 今年秋ごろを予定。一日でも早く開始できるように鋭意取り組んでいく。

議員 浦添市役所・運動公園内のお手洗いの洋式化について、市民の皆様から、洋式が少なく大変不便で増やしてほしいとの声があり対応が必要と考える。

総務部参事・教育部長 財源の確保に努め、年次的に洋式化の促進が図られるよう取り組んでまいります。

宮里弘和



- 当山小学校の過大規模解消
- てだこ浦西駅周辺のまちづくり
- 分散型エネルギーシステム
- うらそえ織や桑の葉などの特産品開発



←録画映像はこちらから

議員 分離新設校を実現するため今後の展望を何う。

教育部長 検討委員会で児童数推計作業に取り組み、今年秋ごろに教育委員会の意見をまとめる。

議員 比嘉昇元市長時代約12年間で、宮城小学校、沢岷小、前田小、港川中学校、浦西中を開校させた。松本市長の見解を何う。

市長 当時の比嘉昇元市長が学校を新設し人口増加に大変寄与した。ただ現在人口の頭打ちが見え、市全体の教育環境をどうつくるかは非常に大切、かつ難しい問題だ。教育委員会ですっかり検討し、ともに考えたい。

議員 市全体の状況と東側地域の状況では大きな違いがある。しっかり議論してほしい。

議員 てだこ浦西駅周辺のまちづくりで参入事業者の現状を何う。

都市建設部長 参入事業者と地権者の合意に向けた協議が行われる。

議員 土地を売りたい、貸したい地権者で民間事業者9社の土地は確保できるか。

都市建設部長 現時点では全てが参入できる状況に無いが、調整している。

議員 分散型エネルギー特定目的会社について何う。

都市建設部長 株式会社を設立予定で、電力の供給に当たる。参入企業に提供していく。現時点では安価に提供できると考える。

議員 うらそえ織の事業、桑の葉などの特産品開発を行う事業の主体機関を何う。

経済観光局長 うらそえ織事業は、うらそえ織協同組合と設立準備会。桑の葉、桑の実に関しては、第一義的には浦添市。共同研究で、高専、県工業技術センター、シルバー等。

比嘉武宏



- 西海岸開発浦添市素案について
- 牧港補給地区返還跡地先行取得について
- 学校給食費補助について
- 遊び型不登校児童について
- 浦添市市民体育館の補修について



←録画映像はこちらから

議員 西海岸開発浦添市素案の進捗について何う。

西海岸開発局長 那覇港管理組合と本市において集中的に協議をして、西向きのビーチ、クルーズ船バスとマリナーの配置を前提にした民港計画と、防衛省も交えて代替施設と整合性の検討が、市民の期待する西海岸開発の実現に向けて大きく進んでいく。

議員 牧港補給地区返還跡地の先行取得制度の進捗状況について何う。

市長 公有地の確保が必要で基金積立てを行い、地権者とご家族の方対象に説明会を行い、さまざまな問い合わせに個別に対応する。

議員 小湾区域の河川登記簿上の残地について何う。

企画部長 防衛省のほうで減失補償で対応していく。**議員** 浦添市学校給食費補助金交付事業の状況を何う。

指導部長 保護者の経済的負担の軽減を図り、所得状況の確認の為、書類審査を行って、追加申請に12月まで受け付ける。

議員 松本市長政策給食費補助は子供貧困対策を兼ね一助とし頑張つてほしい。

議員 小中学校における遊び型不登校児童の居場所作りについて何う。

指導部長 自立支援室ひなたを設置し、支援員3人が児童生徒にマンツーマンで対応し、体験プログラムを企画し自信を見つめなおし学校復帰につなげた。

議員 浦添市民体育館の補修について。**教育部長** 屋根からの雨漏りの原因と思われる、床の盛り上がりは速やかに現場調査を行いながら、市民の安心安全な利用のため修繕や改修を検討する。



護得久朝文

- 子どもの居場所づくりについて
- スーパードキュメンテーションスクールについて
- てだこ市民大学について
- コミュニティバス導入について



←録画映像はこちらから

議員 子どもたちに対する学習支援子ども食堂について、11カ所ある児童センターでできないか。

福祉部長 例えば1カ所の児童センターを運営しているNPO法人が主体となつて学習支援事業を、2カ所の児童センターで地域、センターを中心に子ども食堂が行われ3カ所で活動、さらに多くの子供たちの救いの場所をふやしていきたい。

議員 スーパー・コミュニティシヨナルスクールは残すべきではないか。

教育部長 一括交付金を活用しての取り組みで、5年計画の最終年度を迎えた。本事業は国際性豊かで語学にたけた人材を育成し、就労につながる目的で開始し、2年間で英語、中国語の2か国語を習得。今現在その総括作業として報告書を作成中、担当部局との調整を

し、どのような形で継続等が可能なのか検討したい。

議員 てだこ市民大学の募集に関してこの取り組みが薄かったのではないか。

教育部長 今期で8期生を迎えるてだこ市民大学、昨年度はコミュニティビジネステキニ地域振興学部が、今年度は地域学校支援学部が定員に満たないということが開学できなかった。今後はPTA、自治会への働きかけをさらに強化し、全ての学部が開学できるよう取り組んでいきたい。

議員 コミュニティバス導入について。

都市建設部長 3か月間の実験運行終了間際におきましても、1日の平均乗客数は日々増加していたことから、本格運用の必要性は高いものと考えており県内バス会社等との協議を図りながら、今後検討したい。



上江洲徹也

- 子ども食堂について
- 早世死亡防止について
- 健康寿命延伸について
- 学校現場での依存症防止について
- ライオンズクエストについて
- 産業まつりについて



←録画映像はこちらから

議員 子ども食堂の取り組みについて伺う。

福祉部長 浦添市は11の小中学校に児童センターを配置しており、そのうち3つが活動を開始。ほかの児童センターも地域の皆様方と一緒に考えていきたい。

議員 沖縄県の早世死亡割合は全国一、早世死亡防止、健康寿命延伸の取り組みについて伺う。

健康部長 沖縄県11市における平成24年度25年度いずれも本市がワースト1位、地域での健康教育や出前講座等において伝えている。肥満対策の強化を重点施策にあけて、特定健診やがん検診、保健指導及び各種健康づくりの普及啓発事業を行い、早世予防、健康寿命延伸に努めてまいりたい。

議員 健康づくり市民会議の設立を提案し見解を伺う。

健康部長 議員提案の市民

会議等検討していきたい。

議員 子ども達が憧れのオリンピック選手や大活躍したプロ野球OBが依存症になったニュースは衝撃と考えます。依存症防止教育には専門家の対応が必要、学校現場での取り組みを伺う。

指導部長 学校医、薬剤師や大学等の専門機関の出前講座等を活用していけるよう校長連絡協議会や教頭連絡協議会と連携し取り組み。

議員 ライオンズクエストの取り組みについて伺う。

指導部長 ライオンズクラブ協力のもと教員採用2年目教員研修としてライフスキル研修を実施する。

議員 浦添市産業まつりの開催の有無について伺う。

経済観光局長 現在企業の皆様へアンケートを実施している。各団体と意見交換をして実施に向けて検討していきたい。



又吉健太郎

- 現在の待機児童の状況と今後の待機児童解消に向けての取り組みについて
- 茶山団地で発生した土砂崩れ地帯への対応について
- まちづくり法人の在り方について



←録画映像はこちらから

議員 市長の公約は任期中の待機児童ゼロだったが、公約違反したという認識か。

市長 又吉健太郎議員であれば解消できるかもしれないが、任期中の待機児童ゼロは非常に困難な状況だ。

議員 いつゼロになるのか。

福祉部長 平成30年4月1日に解消を目指している。

議員 今の状況では700名の枠拡大では解消は困難ではないか。さらなる取り組みが必要ではないか。

福祉部長 さらに取り組む。具体策がなく残念だ。私なら幼稚園も活用して定数の確保に取り組む。

議員 茶山団地で発生した土砂崩れ地帯への対応について伺う。

都市建設部長 県の急傾斜地崩壊対策事業に適合しなかったため、他の事業で対応できないかと検討してきた。昨年12月議会では補正

予算を承認いただき概略設計を実施したが、補助事業での執行は適切でないと判断した。しかし二次災害の危険性も想定されるので、市の単独予算で防除対策工事を実施し、今年度中に工事着工するよう努力する。

議員 この2年間で方針の迷走があったが、安堵した。来年の梅雨、台風時期までには完了を期待する。

議員 沖縄電力との協力関係はどうなっているのか。

都市建設部長 沖縄電力からは賛同を得られていない。

議員 地元企業の理解が大事であり、協力関係を構築した上で事業実施するべきだ。見切り発車でいいのか。

都市建設部長 協議はするが計画通り進めていきたい。

議員 地元企業や経済界との十分な連携がないままに事業を進めるのは非常に残念で危機感を覚える。

予算を承認いただき概略設計を実施したが、補助事業での執行は適切でないと判断した。しかし二次災害の危険性も想定されるので、市の単独予算で防除対策工事を実施し、今年度中に工事着工するよう努力する。

議員 この2年間で方針の迷走があったが、安堵した。来年の梅雨、台風時期までには完了を期待する。

議員 沖縄電力との協力関係はどうなっているのか。

都市建設部長 沖縄電力からは賛同を得られていない。

議員 地元企業の理解が大事であり、協力関係を構築した上で事業実施するべきだ。見切り発車でいいのか。

都市建設部長 協議はするが計画通り進めていきたい。

議員 地元企業や経済界との十分な連携がないままに事業を進めるのは非常に残念で危機感を覚える。



又吉謙一

○待機児童解消に向けての取り組みについて
 ○給食費完全無料化について平成28年度内に可能か
 ○宮城5丁目9番と10番の間にある道路に側溝を設ける事について



←録画映像はこちらから

議員 抜本的な解決は5施設を実現させる。その事が待機児童解消につながる。

又認可外保育園を運営する方々に協力を仰いで認可保育園に移行する手続き説明会を催して、市としては、

議員 宮城5丁目9番と10番の間にある道路に側溝を設ける事について。

都市建設部長 当該道路は議員御指摘のとおり、道路側溝が設置されてなく、大雨が降った場合、道路が水

県としては、こういうお手伝いができますという説明をしてほしい。

市長 御指摘のように、全員を集めてのしつかりとした説明会をやっていく必要性があると今の議論の中で感じた。今後早急に体制づくり、きちんと説明をしていく場を設けていきたい。

議員 給食費完全無料化、平成28年度内に可能か。

指導部長 給食費完全無料化につきましては、現時点では実現していない。年度内の給食費完全無料化は予定してない。

議員 市長の公約実現できず、残念です。



伊礼悠記

○認可保育所の増設で待機児童を解消し、保育士の待遇改善を。
 ○高すぎる国保税の引き下げを。
 ○こどもの医療費中学卒業まで完全無料、窓口負担ゼロを。子ども貧困対策を。



←録画映像はこちらから

議員 県の子どもの貧困対策の推進交付金について浦添市の計画は。

福祉部長 学童保育料の低減事業、就学援助の拡充事業、高等職業訓練促進費の拡充、学校給食費の補助金事業への充当。

議員 茶山の土砂崩れ、一刻も早く工事を完了することを求める。

都市建設部長 年度内の着手、完成を来年6月を目標に取り組む。

議員 待機児童解消について今年度の整備計画は。

福祉部長 本園の創設5、分園1、増築1、小規模保育所4、事業所内保育所2施設程度の増設。

議員 定員について。

福祉部長 700人以上の定員の増加を目指す。

議員 いつまでに待機児童をゼロにするのか。

福祉部長 平成30年4月1

議員 日を目指している。

議員 保育士の賃金引き上げについて。

福祉部長 日額給を8060円から8350円に引き上げた。引き続き取り組み。

議員 前田市道13号線と付近の管理道路の拡幅、歩道の設置早期実現を。

都市建設部長 整備の必要性は認識している。引き続き検討する。管理道路は路面標示等の設置を検討。

議員 当山小学校の分離新設を早期に実現すること。今後のスケジュールは。

教育部長 6、7月で推計作業を進めていきたい。

議員 高すぎる国保税の引き下げ、減額・免除の拡充を。こどもの医療費中学卒業まで完全無料、窓口負担ゼロを。幼稚園給食の実現を。キャンプ・キンザー周辺の鉛検出、汚染源の特定を。軍港建設の受け入れ撤回を。



仲里勝憲

○キャンプ・キンザーから発せられている音について
 ○キャンプ・キンザーの先行取得制度について



←録画映像はこちらから

議員 牧港補給地区（キャンプ・キンザー）内から、ラップ音が早朝から夜10時まで鳴っているが、その原因について何う。

企画部長 ことし2月、牧港補給地区内から発せられている音について苦情が寄せられ、米軍側へ確認したところ、ラップ音で、米国歌と日本国歌を1日4回、午前5時半の起床時、午前8時の国旗掲揚時、日没時の国旗降納時、午後10時の就寝時に流し、ことし2月から音量を上げて放送しているとの回答があった。基地内放送であっても、市民生活への影響が大きいとして、放送を中止するか、周辺地域への影響がないよう求めたところ、軍規律のためやめることはできないものの音量を下げた実施しているとの回答があった。

議員 軍の意識高揚だと思

議員 うが、市民生活には要らない音である。詳しく調べて米軍側に申し入れをしてほしい。

企画部長 スピーカーの個数を減らす等、具体的な改善を示しながら、是正するよう申し入れていきたい。

議員 キャンプ・キンザーの先行取得制度について、換地不交付となる165平方メートル以下の方を優先的に先行取得していくことが基本だが、165平方メートル以上の土地も先行取得の対象となるのか。

企画部長 先行取得基金として約65億円を準備しているのですが、その範囲内であれば、165平方メートルを超えても必要な分については確保していきたい。



真栄城玄誠

○小規模保育事業の認定について

- 内間西公園に屋外ステージを
- 市観光振興計画の取り組み
- 内間西公園付近の安謝川の浚渫を
- 市青少年健全育成基本計画の取り組み



←録画映像はこちらから

議員 小規模保育事業認定の審査基準書について伺う。

福祉部長 選考の基準書はない。市のほうでこれから選考の基準書を作成し、総合的に判断して、選考していきたい。

議員 公正公平に審査できる基準書を作成願いたい。

議員 噴水跡を有効的に活用した屋外ステージの設置を伺う。

都市建設部長 自治会と話し合いを持ちながら舞台設置の方法を決めて参りたいと考えている。

議員 市観光振興計画について、これまで何度か質問をしたが、策定に向けてのスケジュールを伺う。

経済観光局長 観光関係企業へのアンケート及び観光客の動向調査を行い平成29年度策定に向けて取り組み予定である。

議員 早目に計画を策定し

て、浦添市の商工業業をはじめ、観光振興に取り組みでいただきたい。

議員 内間西公園付近の安謝川の浚渫について伺う。

都市建設部長 安謝川及び河川周辺の良好な環境づくりの為、除草整備等の実施に向け改めて沖縄県中部土木事務所に要請を行って参りたいと考えている。

議員 青少年健全育成基本計画の取り組みについてであるが、この件に関して、私は何度も一般質問を行っている。今回部長から非常に前向きな答弁をいただいた。1カ年内で策定するという大変すばらしい答弁でしたので、早急に策定をして、青少年の健全育成に取り組んでいただきたい。

議員提出議案 5件を可決

第186回臨時会及び第177回定例会において議員提出議案第5号米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する意見書、議員提出議案第6号米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する抗議決議、議員提出議案第7号防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱に基づく3級及び4級の防音工事に係る維持費補助の見直しに対する意見書、議員提出議案第8号軽度外傷性脳損傷にかかわる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書、議員提出議案第9号軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書が提出され、採決の結果、議員提出議案第5号、第6号、第7号、第8号及び第9号を全会一致で原案のとおり可決しました。

米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する意見書

元海兵隊員の米軍属の男が本島北部で20歳の女性の遺体を雑木林に遺棄したとして、19日沖縄県警に逮捕された。女性の夢も希望も人生も奪った極悪非道な行いは到底許されない。激しい怒りと深い悲しみ、無念さが沖縄中に広がっている。

戦後71年を経た今もお、沖縄には在日米軍専用施設面積の約74パーセントが集中し、米軍人・軍属による犯罪件数は、復帰後から2014年までに5,862件発生している。繰り返される事件・事故により、市民・県民は筆舌に尽くしがたい犠牲と過重な負担を強いられ、生命を脅かされる異常な状態は、一刻も早く解消されなければならない。

今年3月、県内のホテルで米兵による準強姦事件が発生した際、本市議会において、実効性のある抜本的再発防止策を求める意見書及び抗議決議を採択した。米軍基地あるがゆえに引き起こされる悲惨な事件・事故に対し、本市議会は、これまでたび重なる抗議を行い対策を求めてきた。にもかかわらず、このような事件・事故が繰り返されることに県民の怒りは限界を超えている。

本市議会は、市民・県民の生命、尊厳を守る立場から、今回の米軍属による事件に対し、米軍当局並びに関係機関に対して満身の怒りを込めて抗議するとともに、下記事項の徹底・実現を強く要求する。

記

- 1 被疑者に対する厳正な対応と、遺族への謝罪及び完全な補償を行うこと
- 2 米軍人・軍属の教育徹底と綱紀粛正を図るとともに、市民と県民が安心できる実効性のある抜本的な再発防止策を講じること
- 3 「日米地位協定」の抜本的な見直しを図ること
- 4 在沖米軍基地の整理・縮小と米兵の削減を促進すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年5月26日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

※議員提出議案第6号の抗議決議についての宛先は以下の通り

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米軍嘉手納基地司令官、在沖米軍嘉手納基地司令官

防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱に基づく3級及び4級の 防音工事に係る維持費補助の見直しに対する意見書

防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱が改正され、平成28年度以降に新たに実施設計を行って設置する3級及び4級防音工事により空調設備の維持費は補助対象外とするとされた。

防衛施設周辺防音事業は、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、在日米軍の飛行場等の運用に伴う航空機による騒音の障害を防止又は軽減するためのものであり、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等については、児童生徒等が学習を行う場であることから、空調設備の維持費も対象とされていると理解しているところである。

学校教育の現場では、始業時から終業時まで、静かな環境での授業は大切である。3級及び4級の学校においても米軍航空機等による騒音は発生しており、その騒音による授業への影響を軽減していく必要があり、そのためにも維持費補助は重要である。

本市においても、複数校に影響が及ぶことが予想される。

よって本市議会としては、今回の改正による児童生徒の学習環境への影響を懸念しているところであり、今後も維持費補助について下記のとおり強く要請する。

記

- 1 学校等における米軍航空機等による騒音の軽減を図っていくためにも、3級及び4級防音工事により新たに設置する空調設備の維持管理についても要綱を再度見直し、これまでと同様に補助対象とすること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月7日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣

軽度外傷性脳損傷にかかわる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書

軽度外傷性脳損傷は、交通事故や高所からの転落、転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、脳内の情報伝達を担う「軸索」と呼ばれる神経線維が断裂するなどして発症する病気である。

主な症状は、高次脳機能障害による記憶力・理解力・注意力の低下を初め、てんかんなどの意識障害、半身麻痺、視野が狭くなる、におい・味がわからなくなるなどの多発性脳神経麻痺、尿失禁など複雑かつ多様である。

この病態は、世界保健機構（WHO）において定義付けがなされており、他覚的・体系的な神経学的検査及び神経各科の裏付け検査を実施すれば、外傷性脳損傷と診断することができると報告されている。

しかしながら、この軽度外傷性脳損傷は、MRIなどの画像検査では異常が見つかりにくいいため、労災や自賠責保険の補償対象にならないケースが多く、働けない場合には経済的に追い込まれるケースもあるのが現状である。

さらに、本人や家族、周囲の人たちもこの病態を知らないために誤解が生じ、職場や学校において理解されずに、悩み、苦しんでいるケースが多々ある。

以上のことから、医療機関を初め、国民・教育機関への啓発・周知が重要と考える。

よって、本市議会は、国に対し現状を踏まえて下記の事項について適切な措置を講じるよう強く要請する。

記

- 1 業務上の災害または通勤災害により軽度外傷性脳損傷となり、後遺障害が残存した労働者を、労災の障害（補償）年金が受給できるよう、労災認定基準を改正すること
- 2 労災認定基準の改正に当たっては、他覚的・体系的な神経学的検査法など、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法を導入すること
- 3 軽度外傷性脳損傷について、医療機関を始め国民、教育機関への啓発・周知を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月24日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や 予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、頭が衝撃や打撲を受けたり、激しく揺さぶられることによって、あるいは身体への強打によって、頭と脳が前後左右に急速に動かされることによって生じる。この突然の動きによって、文字どおり脳は頭蓋内ではねまわされ、よじられ、脳細胞が引っ張られて損傷を受け、脳内に化学的な変化が生じる。脳しんとうを受傷しても通常、生命を脅かすことはないが、治療を必要とする重篤な症状を引き起こす場合がある。

主な症状は損傷後、記憶障害、錯乱、眠気、だるさ、めまい、物が二重に見えるあるいはぼやけて見える、頭痛または軽度の頭痛、吐き気、嘔吐、光や騒音に対する過敏性、バランス障害、刺激に対する反応が鈍化、集中力の低下等、複雑かつ多彩であり、また症状は、すぐに始まることもあれば、損傷後数時間、数日、数週間、あるいは数カ月間発症しないこともある。

特に、高次脳機能障害による記憶力・理解力・注意力の低下をはじめ、てんかんなどの意識障害、半身麻痺、視野が狭くなる、におい・味がわからなくなるなどの多発性脳神経麻痺、尿失禁などが発症した場合、症状が消失するには数カ月かかることがあり、まれには永続的な身体的、感情的、神経的、または知的な変更が発生する。さらに、脳しんとうを繰り返すと永久的な脳損傷を受ける可能性が高くなり、死に至る場合（セカンドインパクト症候群）もあるので、繰り返し脳しんとうを受けることは、避けるべきである。

この病態は、SCAT2やSCAT3において客観的な診断方法が確立されており、既に、国際オリンピック委員会をはじめ、FIFA、IIHF、IRB、F-MARC等で採用され、ポケットSCAT2においては各種スポーツ団体に脳しんとうを疑うかどうかの指標として使用されている。

平成24年7月に文部科学省が「学校における体育活動中の事故防止について」という報告書をまとめ、さらに平成25年12月には、社団法人日本脳神経外科学会から「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」が提出され、同月には、文部科学省より「スポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供について」の事務連絡が出されているが、実際の教育現場や家庭では、まだまだ正確な認識と理解が進まず、対応も後手に回ってしまい、再就学・再就職のタイミングを失い、生活全般に不安、不便、孤独を感じ、最悪、うつ状態に陥ってしまう人も多く、特に罹患年齢が低年齢であれば発達障害とみなされ見過ごされるのが現状である。

また、重篤な事案となった場合にも事故の初動調査が遅れがちになることにより、事案の経緯が明確にならないため、介護・医療・補償問題をも後手に回ってしまい、最悪、家庭の崩壊へと陥っている家族も多く、事故調査をないがしろにしてしまうがために、同様の事故を繰り返し起こしてしまっているのが現状である。

よって、本市議会は、国に対し上記の現状を踏まえ、下記の事項について適切な措置を講じるよう、強く要請する。

記

1. <教育機関での周知徹底と対策>

各学校などの教師・保健師・スポーツコーチ及び救急救命士・救急隊員に、ポケットSCAT2の携帯を義務付けること。あわせて、むち打ち型損傷、もしくは、頭頸部に衝撃を受けたと推測される事故・事案が発生した場合は、本人の訴えだけでなく、症状を客観的に正確に観察して判断を下すとともに、家庭・家族への報告も義務付け、経過観察を促すこと

2. <専門医による診断と適切な検査の実施>

脳しんとうを疑った場合には、直ちに脳神経外科医の診断を受け、CT/MRIだけではなく、神経学的検査の受診も義務付けるとともに、SCAT3（12歳以下の場合はチャイルドSCAT3）を実施し、対応できる医療連携体制の構築を進めること

3. <周知・啓発・予防措置の推進と相談窓口の設置>

脳しんとうについて、各自治体の医療相談窓口等に対応の出来る職員を配置し、医療機関はもとより、国民、教育機関への啓発・周知・予防をより一層図ること

4. <園内・学校内で発生した重大事故の繰り返しの防止>

保育園・幼稚園及び、学校内で発生した事案が重篤な場合は、直ちに保護者へ連絡するとともに第三者調査機関を設置し迅速に事故調査、及び開示を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月24日

沖縄県浦添市議会

宛先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣

第177回浦添市議会定例会議決結果一覧

(平成28年6月定例会)

事件番号	事件名	議決結果
議案第41号	平成28年度浦添市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第42号	浦添市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第43号	浦添市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第44号	浦添市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第45号	沖縄都市モノレールインフラ部整備事業に係る委託契約の締結について	同意
選挙第2号	南部広域市町村圏事務組合議会議員の選挙	仲里勝憲
議員提出議案第7号	防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱に基づく3級及び4級の防音工事に係る維持費補助の見直しに対する意見書	原案可決
議員提出議案第8号	軽度外傷性脳損傷にかかわる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書	原案可決
議員提出議案第9号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	原案可決
平成26年陳情第8号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	採 択
陳情第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	採 択

インターネット録画映像配信のお知らせ

市民の方々への利便性の向上を図り、市民の議会及び市政への関心を高めることを目的として、本会議録画映像のインターネット配信を開始しています。

録画映像は、原則としてその日の会議の翌日からおおむね7日以降にごらんいただくことができます。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で利用、視聴ができますのでごらんください。

なお、配信された映像及び音声は、浦添市議会の正式な記録ではありません。正式な記録は会議録をごらんください。

議会のテレビ放送

定例会(2月または3月・6月・9月・12月に開催)本会議の様子は、本会議開催日に沖縄ケーブルネットワーク(OCN)のテレビで収録放送を行っております。

放送時間: **本会議開催日、午後6時から収録放送終了まで**

放送チャンネル: **地デジ092ch(OCNチャンネル4)**

※本会議の開催日は、各定例会ごとに市議会ホームページで公開する会期日程をご参照ください。

第186回浦添市議会臨時会議決結果一覧

(平成28年5月臨時会)

事件番号	事件名	議決結果
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(浦添市市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて(浦添市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議員提出議案第5号	米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する意見書	原案可決
議員提出議案第6号	米軍属による県内女性会社員死体遺棄事件に関する抗議決議	原案可決

《8月》		《7月》		《6月》	
25日	第178回定例会告示	21日	西海岸開発特別委員会	3日	議会運営委員会
24日	福祉委員会	20日	文教委員会・建設委員会	7日	第177回定例会招集(24日まで)
23日	福祉委員会	16日	議会運営委員会	13日	全員協議会(散会后)
22日	浦添市議会議員・事務局職員講演会	13日	一般質問(16日まで)	16日	総務委員会
19日	議員・事務局職員研修会(浦添市)	14日	沖繩県市議会議長会事務局長会	20日	総務委員会・福祉委員会
18日	議会改革等に関する調査特別委員会	21日	議会改革等に関する調査特別委員会	21日	文教委員会・建設委員会
12日	うらそえ市議会だより編集委員会	25日	うらそえ市議会だより編集委員会	27日	福祉委員会
8日	(福岡県北九州市・飯塚市)	28日	福祉委員会		
5日	沖繩県市議会議長会定期総会				
1日	総務委員会行政視察(3日まで)				
	(神奈川県横浜市・東京都荒川区)				
	文教委員会行政視察(3日まで)				
	(愛知県岡崎市・蒲郡市)				
	福祉委員会行政視察(10日まで)				
	(福岡県北九州市・飯塚市)				

※平成28年8月18日現在の日程を掲載しております。